

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	生活保護適正実施事業			
予算科目	3 款 3 項 1 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	526
記入者情報	所属長:	渡辺 悦子	担当責任者:	米湊 明弘
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	生活保護受給者及び生活困窮者			
根拠法令等	生活保護法			
事業の目的	医療扶助の適正化・関係職員の資質向上			
事業の内容	診療報酬明細書等点検充実事業・関係職員等研修・啓発事業			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	レセプト(診療報酬明細書)点検を重点実施し、医療データシステム及び生活保護版レセプト管理システムからのデータをリンクさせ、更なる医療扶助の適正化に努める。			
改善策の 具体的 取り組み	レセプト(診療報酬明細書)点検結果から医療データシステム及び生活保護版レセプト管理システムからのデータをマッチングさせ、総合チェックを行い、迅速に再審査請求を実施する。			

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	3,334	10,090	272	3,371
	人件費	1,220	1,113	556	1,113
	合計	0	11,203	828	4,484
人件費 内訳	人工数	0.15	0.14	0.07	0.14
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,220	1,113	556	1,113
財源内訳	国庫支出金	981	8,990	0	406
	県支出金	2,334	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,239	2,213	828	4,078

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
レセプト点検委託事業	件	7113	7000	3000	6670
新任査察指導員基礎研修会	人	0	1	1	1
市部福祉事務所職員研修会	人	2	2	2	1
生活保護担当CW全国研修会	人	0	1	1	1

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	3,100	3,100	3,100	0	0	9,300

成果指標				
成果指標	医療扶助過誤調整額			
指標設定の考え方	レセプト点検を専門業者に委託することによる効果額を算定する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標27年度
目標	1300	1300	0	0
実績	1566	3752	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	医療費が適切に支払われているかどうかを点検する「レセプト点検委託事業」をしっかりと行ったことによって、3752千円を超える経済効果を達成することができた。レセプト点検委託事業などによる「過ちの摘発」は重要であるが、今後は、県と合同で行う医療機関の実地監査にて「請求過ちのないように」指導していくことも大事であると思われる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	医療事務専門職員によるレセプト点検を実施し、診療報酬の過誤請求を随時行うことで、医療機関への指導や重複受診や薬剤のチェックなど、適正受診にむけた受給者指導が、保護費の適正化に繋がっている。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題